



東 俣 野 7月号

東俣野小学校 学校だより令和2年6月30日

明日に向かって

副校長 大山 高幸

7月から本来の時程での学校生活が始まります。年度をさかのぼる3月からの臨時休業には始まり、6月1日待望の学校再開。12日までの第一期は、午前・午後に分かれての分散登校。15日から30日までの第二期は、一斉登校の半日授業。3か月近くの学校休業は今まで誰もが経験したことのない、未知の世界でした。

ここで、6月1日から新型コロナウイルス感染防止のために、東俣野小全職員が取り組んできたことを紹介します。まず、子どもたちが登校する前に、教室やトイレ、廊下や階段、スロープ、昇降口の窓や扉を開けて換気。三密を防ぐために昇降口から門にかけ間隔をあけた待機枠をチョークで一つひとつ描き、早く来た子から枠の中で並びます。時間になると、やはり三密を防ぐために、靴箱の混み具合を見ながら子どもたちを少しずつ昇降口へ誘導。上履きに履き替えた子どもたちが、靴箱の前でかたまらないよう、速やかに教室に行くよう声かけ。担任は、教室前の廊下で一人ひとりの健康観察票チェックと子どもたちの表情を見ながら健康観察を行います。健康観察終了後、手洗いを済ませた子から教室に入ります。特別教室を使用する際は、行く時と帰ってきた時に手洗い。子どもたちが帰った後は、全ての教室の机・椅子、ロッカー、棚、ドアや窓のノブ・引手、電気のスイッチ、廊下のフック、流し場の水道の蛇口、ハンドソープの手押し部分、階段の手すりやトイレを念入りに消毒、その後の水拭き。職員室内の消毒と電話対応にあたる職員1名以外、全職員で行います。第一期は分散登校だったので、同じ作業を1日2回。「大変でない」と言えば嘘になります。ただ、やっとの思いでようやく再開までこぎついた学校生活、「子どもたちへの感染を防ぎたい」その気持ちだけで取り組んだ毎日でした。

7月からは、いよいよ待ちに待った給食が始まります。給食が食べられることに感謝。食材を提供してくださる方に感謝、作ってくださる方に感謝。少しずつ少しずつ普通の生活に……ただし感染予防の活動は続きます。

ご家庭でも引き続き、新型コロナウイルス感染防止のご協力を、よろしくお願いいたします。